総務文教常任委員会

平成29年2月15日（水）午前10時20分～
第3委員会室

1 開議

2 事務局日程説明

3 議案審査

市長公室

企画管理部

- (1) 第1号議案 平成28年度亀岡市一般会計補正予算（第4号）
＜説明～質疑＞

企画管理部

- (1) 第2号議案 亀岡市部設置条例の一部を改正する条例の制定について
＜説明～質疑＞

生涯学習部

- (1) 報告第1号 損害賠償額の決定について
＜説明～質疑＞

4 討論～採決

(休憩)

5 委員長報告確認

6 その他

総務文教常任委員会委員長報告

(29. 2. 15)

総務文教常任委員会に付託されました議案について、審査の経過概要と、その結果を報告いたします。

まず、報告第1号、損害賠償額の決定については、ガレリアかめおかにおいて、金属製案内看板が倒れたことにより負傷された事故に関して、地方自治法第179条の規定に基づき専決処分されたものであります。今後とも、施設の安全管理について、万全を期していただくよう望み、採決の結果は、全員をもって承認すべきものと決しました。

次に、第1号議案、平成28年度亀岡市一般会計補正予算については、ふるさと寄附金の大幅な増加が見込まれるため、返礼品として地元産品を送付する経費等を増額するとともに、寄附の目的にあわせて寄附金収入を振り分け、次年度以降の活用に向けて、各基金に積み立てようとするものであります。

なお、その財源については、寄附金の特定財源と、市税の一般財源で措置されています。

別段異論なく、採決の結果は、全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

次に、第2号議案、亀岡市部設置条例の一部改正については、 妊娠・出産・子育てへと、切れ目ないこどもの未来づくりへの支援体制を強化

するとともに、少子化対策をさらに推進するため、健康福祉部等の^{ぶんしょう}分掌事務の一部について、再編整備を行うものであります。

別段異論なく、採決の結果は、全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

以上、簡単であります但本委員会の報告といたします。

平成29年2月15日

亀岡市教育委員会
教育長 田中 太郎 様

亀岡市議会 総務文教常任委員会
委員長 石野 善司

学校規模適正化の取組に係る申入れについて

標記のことについては、少子化や、中心市街地に近接する地区での住宅開発等により、児童生徒数が大きく増減する状況を踏まえ、より良い教育環境の下で魅力ある学校づくりを進めることとして、平成28年3月に「亀岡市学校規模適正化基本方針」を策定され、現在、この基本方針に基づく取組を進めていただいております。

これまで、各ブロック協議会をはじめ、PTA説明会、自治会役員・住民説明会等を開催されておりますが、その中で参加者の皆さんから様々なご意見をいただいているところであります。

この学校規模適正化の取組みに伴い、学校編入や校区変更などが実施された場合には、児童生徒はもとより、保護者や地元地域の皆さんにも大きな影響が及ぶこととなります。

それぞれの説明会等でいただいたご意見に対しては、十分に耳を傾けていただき、丁寧に回答、説明をいただく中で、学校規模適正化の取組方法等について、期限ありきの中で拙速に結論を急ぐことなく、関係の皆さんの合意形成に向けて、より丁寧な対応に努められるよう申入れを行います。